

福島県 Fukushima

東日本大震災・
原子力災害

伝承館

The Great East Japan
Earthquake and Nuclear Disaster
Memorial Museum

東日本大震災・原子力災害伝承館 企画展

第2部

人が語る

第1部

モノが語る

原子力災害

2023年
11月23日(木・祝)

2023年
7月14日(金)

2024年
3月25日(月)

11月13日(月)

会場 東日本大震災・原子力災害伝承館 企画展示室

※常設展のチケットでご覧いただけます。

開館時間 9:00～17:00(最終入場16:30)

入館料 大人…600円 小中高…300円

休館日 火曜日・年末年始(12月29日～1月3日)

大人団体(20名以上)…480円

小中高団体(20名以上)…240円

問い合わせ

東日本大震災・原子力災害伝承館

福島県双葉郡双葉町中野字高田39

☎0240-23-4402

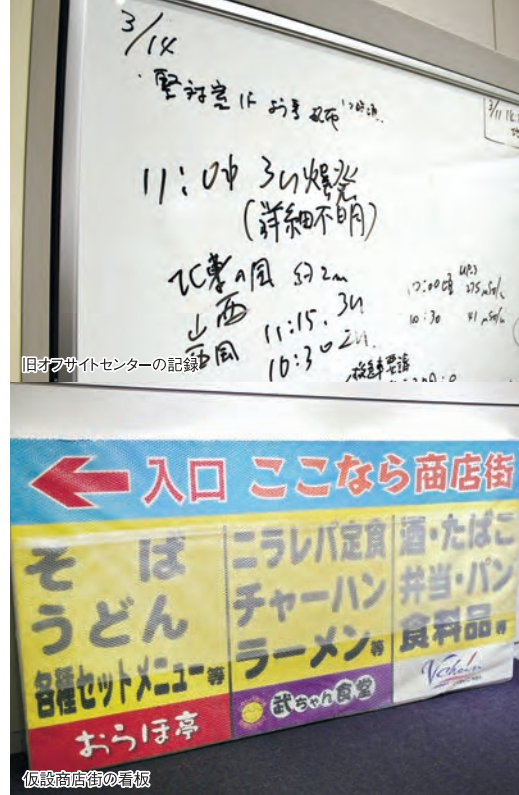


第1部 // モノが語る原子力災害

この企画展では伝承館が収蔵する資料の中でも常設展で展示されていない未公開のモノ資料を多数展示し、原子力災害を解説します。原子力発電所建設当時から事故直後の動き、広域長期避難など、原子力災害のトピックを広く取り扱います。原子力災害を物語る資料は過去から現在への手紙であり、教訓の伝承者です。

第2部 // 人が語る原子力災害

自分が経験したことを語る「言葉」には、その人の思いが込められています。この企画展では原子力災害について当時を知る人の証言を多く展示し、原子力災害を人の言葉から考える場とします。原子力災害は住んでいた地域、年齢、立場などによって十人十色の経験をもたらしました。これらの経験はそれぞれが重要な教訓となり、未来の指針になり得るものです。



8/6日・8/19日・9/10日
13:00-15:00

見て聞いて考えよう
被災地フィールドワーク
学芸員等の解説を聞きながら
伝承館周辺を巡るバスツアー


対象：小中学生＋一般の方
募集定員：20名

ルート（所要2時間）
伝承館—見晴台—請戸小—双葉南小—
双葉駅前—伝承館


8/20日
13:00-15:00

放射線が見える！
霧箱の製作実験
放射線を目視できる
霧箱製作のワークショップ


対象：中高生＋一般の方
募集定員：10名
製作から観察終了まで60分




8/6



8/19



9/10




放射線を目視できる...
このワークショップでは「霧箱」という放射線が飛んだ軌跡を見ることができる装置を作って放射線を観察します。

7/23日 13:00-15:00


地震と津波のヒミツ
液状化と津波の実験観察
ペットボトルによる液状化実験と
専用器具を使用した津波実験

対象：小中学生＋保護者
募集定員：15名（指導者：学芸員2名）
津波実験30分＋液状化実験30分

地震と津波のメカニズム



実験用水槽で津波の観察をします。そのあとはペットボトルを使った液状化実験をします。液状化実験のペットボトルは持ち帰って自由に実験できます。



参加費無料 ※企画展・常設展の観覧には別途入館料が必要です。

詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.fipo.or.jp/lore/>

東日本大震災・原子力災害伝承館マップ



出発地	経路	所要時間	距離
仙台から	仙台空港	常磐自動車道経由一般道 約90分	一般道約7.5km
	仙台駅	常磐線特急ひたち 約80分	一般道約2.7km
東京から	東京都内	常磐自動車道経由一般道 約240分	一般道約7.5km
	東京駅	常磐線特急ひたち 約190分	一般道約2.7km

お問合せ先
公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構
東日本大震災・原子力災害伝承館
電話0240-23-4402 FAX0240-23-4403
電子メール archive@fipo.or.jp HP <https://www.fipo.or.jp/lore/>

